

# 進路だより

平成27年3月5日  
大阪府立守口支援学校  
進路指導部 発行第3号

## 祝！新成人を迎えた卒業生7名が参加

1月17日（土）枚方市立地域活性化支援センター（輝きプラザ）で「第14回北河内成人のつどい」が開催されました。一昨年に交野、寝屋川、守口、東大阪の支援学校を卒業された新成人の方達、約80名が集いました。本校卒業生も7名の方が参加し、仲間との再会に微笑みながら楽しいひと時を過ごしました。獅子舞が登場した後に幼少時の頃のスライドショーが始まるというオープニング演出に会場の雰囲気が一気に盛り上がりました。新成人の紹介コーナーではテーブルごとに壇上に上がり、成人を迎えた心境や将来の夢などを語りました。「お酒を飲んでみたい!」、「旅行をしたい!」、「これまで以上にもっとお仕事をがんばりたい!」という話が多くあったように感じます。後半は恒例のお楽しみ企画、同志社女子大チアリーディングやNEYOバンド（元寝屋川支援学校教員）による音楽演奏、歌唱を楽しみました。ラスト曲の「勇気100%」では、思わず立ち上がり踊りだす卒業生もいて会場が一体となりました。新成人として新たな門出を胸に誓う、思い出に残る一日でした。



2月14日、門真市民文化会館ルミエールホールで「第25回春をよぶみんなのコンサート」が行われました。

北河内の福祉施設・事業所や支援学校から12団体が参加し、それぞれ趣向を凝らした楽しいパフォーマンスを披露しました。守口支援学校からはとんこクラブが参加し、最後の演技団体として「どんどんばやし」を演奏しました。カラオケコーナーへは生徒が1人出演しました。今年の流行りといえば・・・ようかい体操第一！音楽が流れると舞台上だけでなく、会場で観賞している方々や控え室で待っている方々も一緒に踊り出し会場みんなが妖怪に大変身していました。守口支援学校の在校生や教員は、卒業生が出演しているのを見つけると、より応援に熱が入りました。

最後のフィナーレでは、「春にむかって」を歌いながら、2階席から降って来た大きなバルーンを笑顔で跳ね返し、最後までワクワク感いっぱいの楽しいイベントの幕を下ろしました。

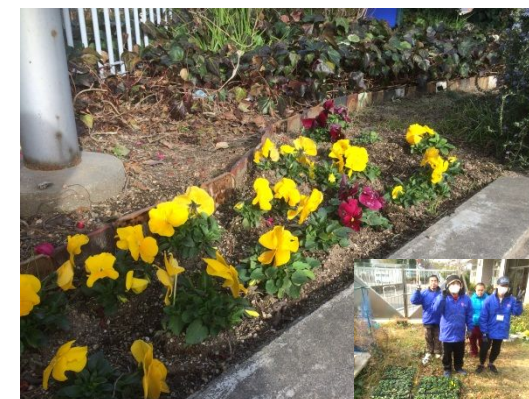
## 桜の園さんより

## パンジーの花をいただきました！！

年末のクリスマス・イブの日に、守口支援学校の卒業生が多く通っている「桜の園」さんから200株のパンジーの苗をいただきました。

桜の園さんでは、美化活動として地域の学校や施設へ、種から育てた色とりどりの花を届けておられます。今回は利用者さんの温かい想いが通じたのか、予想以上に芽が出たそうです。

今回いただいたパンジーは授業での植栽に利用したり、玄関前の花壇を華やかにしたりするのに活用させていただきました。みなさん、来校された際は、是非ご覧くださいね。



## 春をよぶみんなのコンサート

## 今年度の進路相談・指導を振り返って

「福祉就労関係」



今年度も高3年の進路決定にあたり、生徒や保護者の方と共に「日中活動の場」となる地域福祉事業所に足を運びながら、情報交換や相談・調整に努め、裏面の進路先一覧のような結果となりました。

障害者総合支援法に基づいた各種の福祉サービス提供が潤沢に地域で展開されているというにはまだまだ厳しい状況ではありますが、進路担当が自立支援協議会専門部会にも参画し、本校進路ニーズの情報発信に努めることで各市障害福祉課や関係機関と課題の共有や検討を進めています。そのような地域連携をベースに学齢期から成人期への移行、いわゆる社会への第一歩を踏み出す本校卒業生の福祉サービス利用については丁寧かつ優先的に相談調整して頂きました。

主な新しい動きとしては、就労継続支援A型事業が3事業所、新規に立ち上がり、また生活訓練事業の形態で精神的なケアの必要な方や引きこもりなどの方の支援も含めた活動を展開する事業所が新規に立ち上げられたことは、本校にとっても今後大きな期待がかかるところであります。

また、特に今年度は、障害福祉サービス利用等の申請に係る支給決定前にサービス等利用計画案を作成、調整する「計画相談支援」の実施に伴い、学卒新規利用者の仕組みづくりに力を入れて取り組みました。従来の進路相談スケジュールと計画作成が機能的に連動し、利用者である高3生や保護者の方にとって、より本人主体の有意義な進路実現に結び付けていけるように、次年度以降も引き続き、地域と相談調整を進めていく必要があると考えています。

次年度には卒業後すぐの就労継続支援B型利用の経過措置延長が適応できなくなる動きが予測されており、このように刻一刻と変動する障害福祉サービスに適応できる進路相談体制を地域や家庭と連携しながら更に構築していきたいと考えています。


## 「企業就労関係」

本校高等部ではコース制を展開しながら各コースの学習に企業実習や作業学習も組み込み「働きたい！」という意欲や姿勢を育てています。このような学習の積み上げをベースに、今年度も右表のとおり、職業コースの生徒の内、4名が企業就労となりました。就職はゴールではなく新たなスタートであって職場定着が大きな目標ですので、職業コースでは生徒自身が2年次までの学習で自分に適した働き方を考えた上で3年を迎えるカリキュラムになっています。もちろん担任や進路担当も十分なアセスメント（実態把握・評価）をしながら個々の生徒にマッチングした働き方を共に考え、職場開拓に努めています。

また、本校では地域の就労支援機関であるハローワーク門真の方に年度当初の学校訪問で生徒と面談をして頂いたり、北河内西障害者就業・生活支援センター わーくぷらすの方に「働く上で大切なこと」というテーマで後期現場実習前に授業をして頂いたりしております。「長く働き続ける就労」の実現のためには、生徒本人が就労に向けた力や意識をキャリアアップしていくのはもちろんですが、このような地域での支援体制も欠かせません。本校校区が障害者の就労支援について意識が高く、支援体制が整備された圏域であることは本当に有り難いことでもあります。

一方、アフター支援に取り組む中、一昨年度に就労移行支援事業所に進路をとった卒業生から「企業就労しました。」という嬉しい報告も多く受けております。卒業後すぐの就労もしくは将来的な就労、いずれにしても三年後の社会参加を見据えながら高等部の三年間で何を学び、どのように進路実現していくのがよいのか、個々のライフステージをイメージしていくことが大切なのだと思っております。

安定した職業生活自立の実現に向け、今後ともご家庭のサポートもよろしくお願い致します。



**19期生の皆さん！**  
ご卒業おめでとうございます。

この一年間、進路実現に向けて一緒に取り組んできましたが、いよいよ社会参加の第一歩を踏み出す時が来ましたね。それぞれの進路先での新たな出会いを大切に、自分らしく頑張ってください。

平成26年度 中学部卒業生の進路先 (平成27年3月5日現在)	総数	守口市在住	門真市在住
守口支援学校	13	13	
寝屋川支援学校	20		20
	33	13	20

※守口支援、寝屋川支援については3/17受検予定のため入学見込み数

平成26年度卒業生の進路先	総数	守口市 在住		門真市 在住	
		男	女	男	女

守口市立わかたけ園（生活介護）	1	1			
守口市立わかたけ園（生活訓練）	1	1			
オールケア守口（生活介護）	1	1			
ういず守口（生活介護）	1		1		
ようき・すなお第1（就労継続支援B型）	1	1			
グッディーホーム（就労継続支援B型）	1		1		
ジェイ・エス ステージ（生活介護）	4	2	2		
第3ジェイ・エス ステージ（生活介護）	1				1
こもれび（生活介護）	1			1	
交野自立センター（生活訓練：入所）	1		1		
津の辺（生活介護）	1			1	
ふたば（生活介護）	2	1	1		
ワークネットつるみ（就労継続支援B型）	1			1	
つるみの郷（就労継続支援B型）	3		1	1	1
光生園（生活訓練）	1	1			
バンビの里（就労継続支援B型）	1	1			
ロンタイ株式会社	1	1			
奥村機械株式会社	1	1			
ニュードライ株式会社	1	1			
有限会社アイ・ネット	1	1			

19期生	26	13	7	4	2
------	----	----	---	---	---